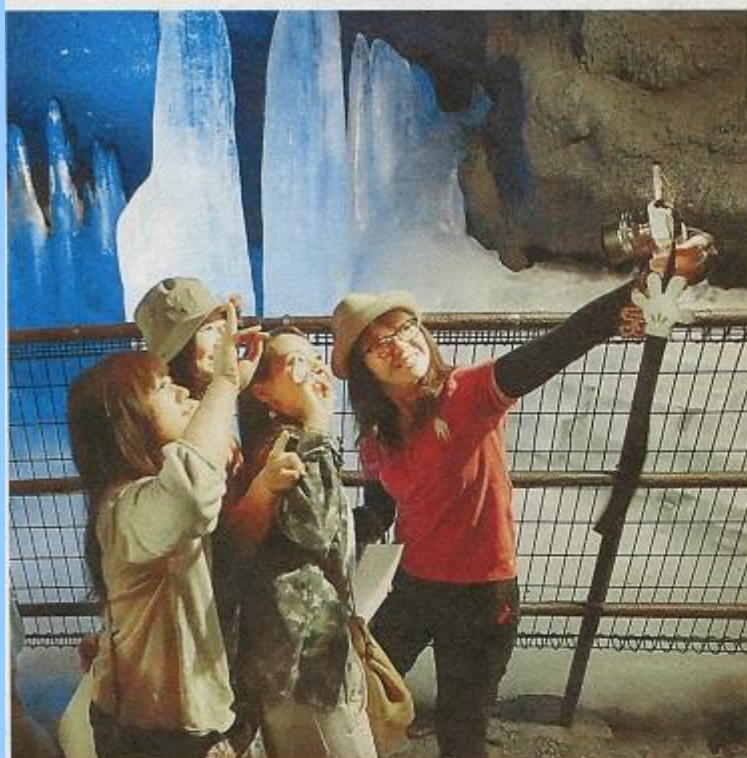


氷の世界 身も心も



氷柱の前に集まり、「自分撮り」をする観光客＝富岳風穴

夏にとびきりの涼が味わえるスポットがある。富士山のふもと、青木ヶ原樹海にある富岳風穴（山梨県富士河口湖町）と鳴沢氷穴（鳴沢村）だ。国の天然記念物で、洞窟内はどちらとも年間を通じて0℃3度。諸説あるが、樹海が直射日光を遮り、富士山の雪解け水などが溶岩でできた地中に浸透して流れることで、常に涼しく保たれている。1150年前に噴火したという富

Fuketsu・Hyoketsu

富岳風穴・鳴沢氷穴

土山の側火山・長尾山の溶岩流によってつくられた。「富岳風穴も鳴沢氷穴と同じく、夏場でも天然の氷柱が見られます」。そう話すのは、両洞窟を管理する富士観光興業の和光茂さん(50)。風穴は横穴で総延長2001㍎。約15分で往復できる。入り口から階段を数段下りると、途端に冷たい空気が全身を包みこむ。階段脇には2月に降った雪が積もったままだ。薄暗

い洞窟内を歩くと、2㍎を超える何本もの氷柱が現れた。天井からしみ出た水滴が冬季に凍って成長したもので、青くライトアップされた幻想的な雰囲気にも心も涼しくなる。生き物のようにうねる壁面をたどって奥へ進むと、かつて植物の種などを保管した貯蔵庫が再現され、昔の生活を知ることができる。

風穴の東800㍎。鳴沢氷穴は縦穴で深さは約21㍎。総延長153㍎ほどで、1周すると約15分かかる。涼しい洞窟入り口には終戦直後、踊り場が設けられて進駐軍のダンスホールとして利用されていた。傾斜の急な階段を慎重に下って、高さ91㍎の最も天井の低い通路はカニ歩き、とアドベンチャー気分満点。最深部の真つ暗な「地獄穴」の前を通り過ぎると、ライトに照らされた1㍎2㍎の美しい氷柱が出迎えた。



柵から中をのぞくと上部に氷柱が見えた＝鳴沢氷穴

4ひんやり気分を味わえる洞窟+



- 富岳風穴（山梨県富士河口湖町西湖青木ヶ原2068-1） ☎0555・85・2300
- 鳴沢氷穴（山梨県鳴沢村8533） ☎0555・85・2301
- 竜ヶ岩洞（静岡県浜松市北区引佐町田畑193） ☎053・543・0108
- 江の島岩屋（神奈川県藤沢市江の島2） ☎0466・22・4141（藤沢市観光センター）
- 日原鍾乳洞（東京都奥多摩町日原1052） ☎0428・83・8491
- 橋立鍾乳洞（埼玉県秩父市上影森675） ☎0494・24・5399
- 不二洞（群馬県上野村川和665） ☎0274・59・2146
- 鍾乳洞源三窟（栃木県那須塩原市塩原1118） ☎0287・32・2338